



水素ガス分野の将来展望

水素分子の医療利用に関する研究開発を手がけるMIZ株式会社(本社・神奈川県鎌倉市、佐藤文武社長)の常務取締役研究開発担当・獣医学博士の平野伸一氏は、水素分野の発展に注力している研究者だ。4月に行われた水素分野の最新研究等を紹介するメディア向けワークショップでは、水素水を巡る“二七科学論争”に触れて適切な情報発信の重要性を訴えた。平野氏は、このところ注目を集めている水素ガスについても、正しい情報と適正な商品の普及こそが重要と強調する。

水素水と水素ガスの特性

現在、水素関連分野では、「水素水」がさまざまな取り上げ方をされて注目を集めています。

一方、「水素ガス」について医療分野での活用が期待されていますが、消費者の認知は水素水ほど高くはありません。まず、水素は飲用で、ガス状の水素を吸いで摂取することについて伺いたい。

「水素はガス状の分子です。水素水は水素分子すなわち水素ガスを水に溶かしたもので

す。一部の臓器を除いて、

水素水の飲用に比べて水素ガスの吸入は水素濃度の最高値が低いものの、

期待されていますが、消費者の認知は水素水ほど高くはありません。まず、水素は飲用で、ガス状の水素を吸いで摂取することができます。一方、水素を無菌的に生理食塩液などの輸液に溶かしたもの

です。水素水は水素分子すなわち水素ガスを

分子すなわち水素ガスを

分子すなわち水素ガスを